

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年5月12日（月）

2 確認箇所

2.5m盤（海側遮水壁）

3 確認項目

海側遮水壁の状況

4 確認結果の概要

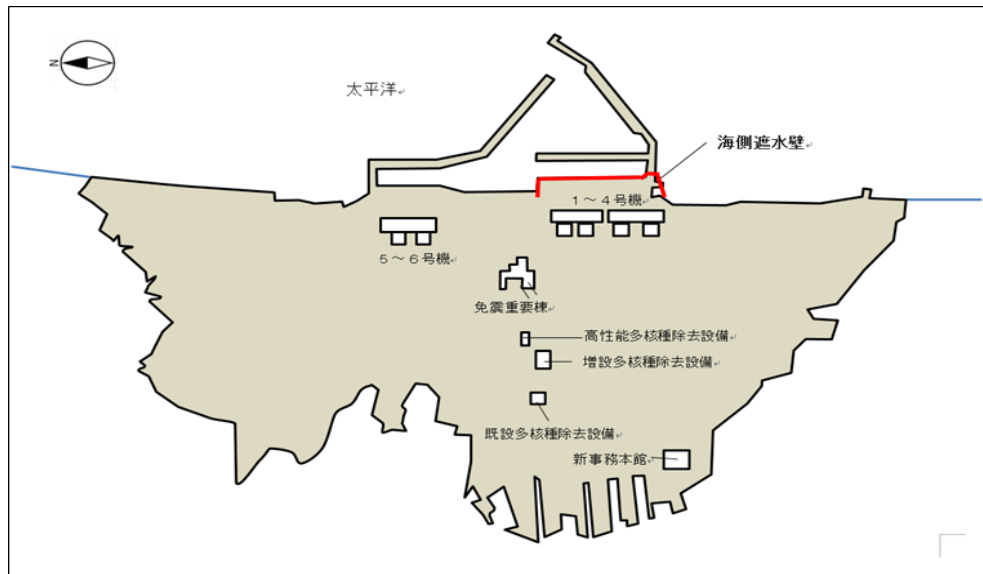
海側遮水壁は、発電所敷地から港湾内に流れている地下水を1～4号機の2.5m盤の前面でせき止めることにより、放射性物質を含む地下水が港湾内に流出することを抑制するために設置されている。

本日は、海側遮水壁の保全状況を確認した。（図1）

（前回確認：令和6年4月12日）

- ・海側遮水壁は、1号機から4号機タービン建屋東側の海沿いに全長約780mにわたり鋼管矢板を海底に打ち込んで設置されている。鋼管矢板には、埋め立ての土圧等による変位抑制のため杭頭部に結合鋼材が設置されている。（写真1）
- ・現場において目視確認を行った範囲では、遮水壁全体を通して異常は確認されなかった。（写真2）
- ・海側遮水壁の健全性確認ため、東京電力では以下の項目について定期点検が実際されている。

- 目視による機能維持確認
- 杭頭変位計測による鋼材の応力、ひずみの評価
- 電位測定による電気防食の機能確認
- 周辺地下水位ならびに開渠内の放射性物質濃度のモニタリングによる遮水壁外への流出の有無



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1①) 海側遮水壁の状況



(写真1②) 海側遮水壁最北端コーナー部



(写真2) 鋼管矢板上部

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常値は確認されなかった。